

会議名	長浜市指定管理者選定委員会 (令和7年度第2回会議)
日時	令和7年8月28日(木) 10:00~11:30
審査対象	西浅井地域振興関連施設

#### 審査結果概要

- (i) 施設所管課(文化観光課)からの募集経過説明
- (ii) 申請団体(有限会社西浅井総合サービス)による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答【別紙①】
- (iv) 採点、集計  
1,000点満点中:772点(100点満点中:77.2点)
- (v) 審査  
指定管理者候補として適当と判断する者  
所在地 長浜市西浅井町大浦1098番地4  
名称 有限会社西浅井総合サービス  
代表者 佃 光広  
選定にあたっての条件 特になし

#### 質疑応答

- 経営の安定化を図るため、地元産に影響を及ぼさない範囲で地元以外からの仕入れも進めているとのことだが、具体的にはどのような状況か。  
⇒お客様にご来場いただいた際に商品が売り切れているのは避けなければならないため、供給に対し需要が勝ることが想定される場合は、地元以外の農作物も仕入れている状況。基本的には地元産で足りるようにしている。
- 地元産とそれ以外の農産物とはどのような色分けをしているのか。  
⇒地元産の野菜やフルーツは入口近くに配置し、ポップをつける等、お客様の目につきやすいよう工夫している。
- 指定管理業務以外にも請負業務をされていると思うが、指定管理業務の従業員が他の請負業務にも携わっていることはあるのか。また、携わっているのであれば、給与や社会保険等は適正に区分されているか。  
⇒数名の従業員が指定管理業務とそれ以外の請負業務に重複して従事しているが、指定管理業務と請負業務は区分して集計し、日数に応じた給料を支払っている。また、この数名は週3日の従事であるため労働者災害補償保険のみ加入している。

○従業員の高齢化が問題との説明があったが、今後も事業を継続するうえで、若者の雇用はどのように考えているか。

⇒若者の雇用については、手法を検討しているところ。過去には若い方から駅でコーヒー販売をしたい旨の相談をいただき、チャレンジショップとして後押しをしたことはある。

○奥びわ湖水の駅において、これまでも様々な経営改善に取り組んでおられると思うが、今後、新たな取組は検討されているのか。

⇒指定管理期間中に有識者からアドバイスをもらい更なる経営改善を図っていく予定。まずは、ブランディングに注力したうえで、これまで苦手としていた SNS 等を活用し、積極的な情報発信をしていきたいと考えている。

○プレゼンテーション資料にある年間営業成果一覧と決算報告書に記載されているそれぞれの年間売上額について、数値に相違があるのはどのような理由か。

⇒顧問税理士と相談し、決算報告書においてはテナント等の業務委託による売上や農作物の売上については、全てを会社としての収入としては計上せず、実際のテナント料や手数料など会社の収入のみを計上している。そのため施設としての売上と、会社の収入との間に差がでてくるため。

○丸子船の館は歴史的にも文化的にも貴重なものだと思うが、来場者数が減少しているところが気になる。例えば菅浦地区と連携して集客すること等は検討されているか。

⇒菅浦地区とは連携調整したいと考えているが、具体的には進んでいない。

## 審査

○有限会社西浅井総合サービスは、西浅井地域において唯一無二の存在として 20 年以上施設管理に携わってこられており、地域にとって必要な会社だと思う。

○指定管理施設が高齢の方の雇用の場となっている点やこれまで安定的な経営をしてこられたことは評価できる点だと思う一方で物足りなさも感じる。若い世代の雇用が進んでおらず、職員の高齢化が課題とのこと。移住者等の採用をする等、今後どのように課題を克服されるのか注目したい。

○奥びわ湖水の駅では、出荷者不足や高齢化といった課題があるとのこのだが、この課題を有限会社西浅井総合サービスの努力だけで改善することは難しいと考える。他の道の駅や、農産物直売所等と連携しながら市全域で課題解決に向けて取り組んでほしい。

○経営改善策を作成するなど、これまでも努力されているのはよくわかるが、施設としては、更に伸びるポテンシャルはあると思う。まだ伸びしろがあるし、やりようがあるように感じる。事業の継続性だけでなく、更なる事業の活性化を意識していただけるとよりよい施設になると思う。

委員長：有限会社西浅井総合サービスを西浅井地域振興関連施設の指定管理者候補として適当と判断してもよろしいか。

全委員：異議なし。